

林業技術総合センター

～ 林業の普及指導を担うシンボリックな施設づくり ～

【宮城県土木部営繕課】

CLTパネルの新たな木材利用技術を導入して整備しました



【CLTの技術改良】

本施設は3棟により構成され、CLTの良さを活かしつつそれぞれに特徴を持たせた多様な構造方法としています。

また、実験、実証に裏付けされた小判CLTパネルの接合による大判パネル化技術、開口付きCLT耐力壁、CLT立体壁を取り入れて整備しております。

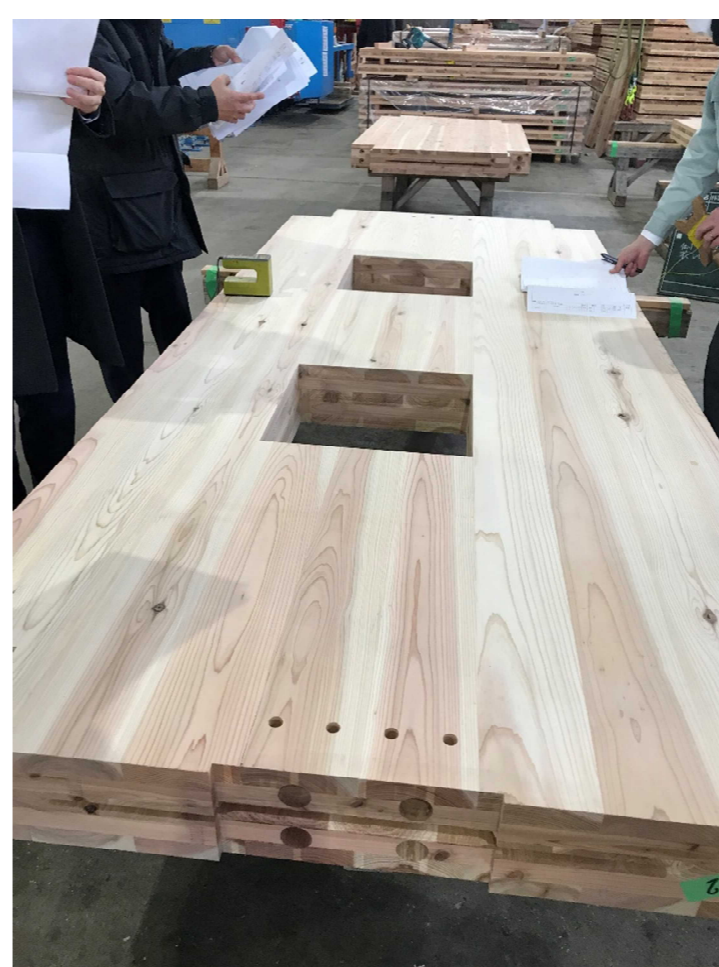


【小判CTLパネルの接合による大判パネル化】

【木材建築普及推進・地域林業活性化】

県の林業技術拠点施設の改築において、宮城県CLT等普及推進協議会と連携し、材料調達、生産加工、設計、施工を県内の技術者で取り組みました。

これまで大規模な木造建築の経験の少ない地方の設計事務所やゼネコンが大規模木造建築に触れる機会を創出し、非住宅分野における木造建築の普及促進するとともに、地域の林業、木材産業の活性化を試みました。



【開口付きCLT耐力壁】



【CLT立体壁】

構造：木造（CLT工法）、鉄骨造＋木造
地上2階
延べ面積：1,243㎡
完成年度：令和3年度